

(特非) 日本障害者スキー連盟 新役員体制 発足

猪谷千春氏 (IOC 名誉委員、コルチナ・ダンペッツォオリンピック銀メダリスト) が会長に就任。

競技環境の整備、企業との連携、次世代選手育成に注力。

特別非営利活動法人日本障害者スキー連盟では、9月20日(土)開催の総会において、平成26年度新役員体制が承認されました。

会長にはIOC名誉委員(元IOC副会長)の猪谷千春氏が就任し、各分野の専門家から構成される役員体制が発足しました。猪谷新会長には、長年にわたり国際オリンピック委員会(IOC)のメンバーとしてオリンピックや国際社会におけるスポーツに関わられた経験を基に、障害者スポーツの普及と発展、障害者スキーの底辺拡大と競技力向上のけん引役として活動いただく予定です。

近年、障害者スポーツやパラリンピックへの関心が高まりつつありますが、障害者やパラリンピックアスリートを取り巻く環境は、楽観できる状況にはありません。新しい体制では、財政基盤の確立、統治の確立と組織の強化、2018年冬季パラリンピック平昌大会に向けた競技力の強化の3点を喫緊の課題と定め、活動を強化してまいります。

連盟はこれらの課題に対処するため、企画力、マネジメント力、ガバナンスの確立を重視した新たな体制を整えました。新しい理事には、経営コンサルタント、法律家、財務、広報、マーケティング、学識者、パラリンピックアスリート、オリンピック等、幅広く各界の専門家を選出しました。

平成26年度の取り組みとしては、企業と選手の雇用のマッチング、企業とのコラボレーションの活性化、次世代選手の育成を重点的に進めてまいります。

詳細は次頁のとおりです。

① 企業と選手との雇用のマッチング

パラリンピアンや障害者スポーツ競技者の練習環境は厳しく、多くの選手は家族や支援者の協力なしには競技活動に取り組めないのが現実です。資金面でも選手個人が費用を負担する等、経済的な負担は大きな問題となっています。経済的な理由で選手活動を断念しなければならない選手も少なくありません。

選手が競技に集中できる環境を整え、経済的負担の軽減とセカンドキャリアの形成も進めるため、障害者アスリートの雇用について、企業に理解と協力を働きかけてまいります。

② 企業とのコラボレーションの活性化

近年の競技の高度化に伴い、機材の進化は著しいものがあります。また、スキー競技はスキー板やワックス等のように、機材や材料に負うところが大きいスポーツです。

特に、障害者スキー競技の場合は機材の占める比重が大きく、チェアスキー機材や身体に合わせたウェアの開発等、機材の研究開発が欠かせません。

企業には“技術立国・日本”が持つ先端的なテクノロジーの供給と支援、資金的な支援を働きかけてまいります。

③ 次世代選手の育成

2018年には第12回冬季パラリンピック平昌大会が開催されます。現在、世界最高水準にある日本チームの競技力を維持しながら、障害者スキーの競技人口の拡大と選手の育成を急ぐ必要があります。

新体制では、アルペンスキー競技の強化責任者であるアルペン委員長に、1998年冬季パラリンピック長野大会以来通算10個のメダルを獲得し、日本を代表する冬季パラリンピックアスリートである大日方邦子常任理事が就任するなど、競技力強化に向けた体制を整えました。

(特非) 日本障害者スキー連盟 (SAJD) H26-H27 役員名簿 ※氏名の下線は新任

	氏名	役職	担当	所属等
1	<u>三浦 雄一郎</u>	顧問	普及・広報・啓発	プロスキーヤー、クラーク記念国際高等学校校長、 ㈱ミウラ・ドルフィンズ代表取締役 (社)全国森林レクリエーション協会会長 NPO 法人グローバル・スポーツアイズ理事長
1	安江 末雄	相談役		(特非)日本知的障害者スキー協会顧問 前(特非)日本障害者スキー連盟顧問
2	<u>伊佐 幸弘</u>	相談役		前 SAJD 会長・(公財)日本障がい者スポーツ協会評議員、パラリンピアン
3	<u>野澤 英二</u>	相談役		(特非)日本障害者クロスカントリースキー協会会長、 パラリンピアン
1	<u>猪谷 千春</u>	会長		IOC 元副会長、現 IOC 名誉委員、スター保険会社名誉 会長、日本オリンピックズ協会副会長 一般財団法人東京都スキー連盟会長、2020 東京オリ ンピック・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議 顧問
2	目黒 正己	副会長		日本身体障害者スキー協会会長、長岡市社会福祉法人さ んむ福祉会監事、パラリンピアン
3	丸山 靖	副会長		日本チェアスキー協会会長、合同会社アクティブショッ プまる代表取締役社長、パラリンピアン
4	<u>椎名 茂</u>	副会長	体制基盤整備担当	ブライスウォーターハウスクーパース株式会社 代表取締役社長
5	野村 一路	専務理事	事務局長兼務	日本体育大学教授、(特非)日本知的障害者スキー協会 会長・INAS-ASIA 執行委員 (特非)日本知的障害者スポーツ連盟副理事長、独立行政 法人福祉医療機構社会福祉助成事業審査・評価委員
6	<u>大日方邦子</u>	常任理事	アルペン委員長	パラリンピアン、電通パブリック・リレーションズ、 一般社団法人パラリンピアンズ協会副会長 日本パラリンピック委員会 (JPC) 運営委員、2020 東京五輪・パラリンピック競技大会組織委員会顧問会議 顧問
7	<u>佐藤 志郎</u>	常任理事	クロカン委員長	株式会社北野建設スキー部アドバイザー、前全日本スキ ー連盟クロスカントリー部長、ソチオリンピッククロス カントリー監督、 (公財)長野県スキー連盟 常任理事、レークブラッド 五輪代表選手
8	志村 謙	常任理事	安全対策委員長 アルペン委員	特定非営利活動法人東京自立支援センター、元都立特別 支援学校教諭、(特非)日本知的障害者スキー協会副会長 (強化担当)
9	<u>古市 隆一</u>	常任理事	事務局総務部長	アダマンド工業株式会社特別顧問、元 AIU 株式会社
10	大久保浩行	常任理事	事務局総務	都立田園調布特別支援学校、(特非)日本知的障害者スキ ー協会事務局長
11	沖川 悦三	常任理事	事務局総務	神奈川県総合リハビリテーションセンターリハ工学研 究室、日本チェアスキー協会事務局長
12	斎藤 信治	常任理事	事務局総務	富士フィルム、日本身体障害者スキー協会総務部長

13	花澤 実	常任理事	事務局総務	公益財団法人江東区健康スポーツ公社、(特非)日本障害者クロスカントリースキー協会事務局長
14	安藤佳代子	常任理事	事務局総務	立教大学コミュニティ福祉学部スポーツウェルネス学科助教
15	菊地 彰夫	常任理事	財務・広報委員長	電通パブリック・リレーションズ取締役常務執行役員
16	高橋 宏志	理事	法務・倫理委員長	弁護士、中央大学法科大学院教授、森・濱田松本法律事務所、元東京大学法学部長、東京大学名誉教授
17	田中 暢子	理事	国際委員長	桐蔭横浜大学スポーツ健康政策学部准教授、2020 東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会参与 英国ラフバラ大学大学院修了・スポーツ政策学(博士)
18	三澤 拓	理事	選手代表 アルペン委員	パラリンピアン、キッセイ薬品工業
19	新田 佳浩	理事	選手代表 クロカン委員	パラリンピアン、日立ソリューションズ
20	木村大八郎	理事	財務・広報委員	(株)ミウラ・ドルフィンズ、元札幌校校長
21	為末 大	理事	財務・広報委員	オリンピック、元陸上競技プロアスリート、一般社団法人アスリート・ソサエティ代表理事
22	岩間 秀子	理事	アンチ・ドーピング 委員長	(公社)日本フェンシング協会常任委員アンチ・ドーピング委員、オリンピック(1976、1980)
23	宮本 俊和	理事	ブラインド対策委員長	国立大学法人筑波大学大学院人間総合科学研究科教授 筑波大学医療科教員養成施設長(ブラインド関係)
24	穴田 慎一	理事	普及担当	(社)日本職業スキー教師協会理事 教育部障害者スキー委員会委員長・黒ゆりプロスキースクール校長
25				SAJ に依頼し、SAJ 内で検討中
1	今村 正典	監事		(株)のぞみ総研 のぞみ合同事務所 行政書士
2	大内 智	監事		税理士、ベンチャー支援税理士法人縦括代表社員
3	平野 敦司	監事		神奈川県総合リハビリテーションセンター、前 SAJD 事務局長

日本障害者スキー連盟 2014～2015 シーズン 主要競技大会スケジュール

2014年10月3日現在

【アルペンスキー】

2015年1月8日～1月11日	ワールドカップ[第1シリーズ] (スペイン/ラ・モリーナ)
2015年1月26日～1月30日	ワールドカップ[第2シリーズ] (フランス/ティージュ)
2015年2月2日～2月5日	ワールドカップ[第3シリーズ] (スイス/サンモリッツ)
2015年2月28日～3月11日	IPC世界選手権大会 (カナダ/パノラマ)
2015年3月21日～3月24日	ジャパンパラ アルペンスキー競技大会 (長野県/白馬村八方尾根スキー場)

【アルペンスキー (知的)】

2015年2月	INAS世界選手権大会 (フランス)
2015年3月21日～3月24日	ジャパンパラ アルペンスキー競技大会 (長野県/白馬村八方尾根スキー場)

【クロスカントリースキー/バイアスロン】

2014年12月10日～12月17日	ワールドカップ[第1シリーズ] (フィンランド/ヴォカッティ)
2015年1月15日	日本障害者クロスカントリースキー競技大会 (北海道/旭川市)
2015年1月24日～2月1日	IPC世界選手権 (アメリカ/ケーブル)
2015年2月4日～2月11日	ワールドカップ[第2シリーズ] (韓国/平昌)
2015年2月13日～2月18日	ワールドカップ[第3シリーズ] (北海道/旭川市)
2015年3月6日～3月8日	ジャパンパラ クロスカントリースキー競技大会 (長野県/白馬村)
2015年3月16日～3月22日	ワールドカップ[第4シリーズ] (ノルウェー/スルナダール)

【クロスカントリースキー (知的)】

2015年1月15日	日本障害者クロスカントリースキー競技大会 (北海道/旭川市)
2015年2月	INAS世界選手権大会 (スウェーデン)
2015年3月6日～3月8日	ジャパンパラ クロスカントリースキー競技大会 (長野県/白馬村)

※記載内容は全て予定です。今後変更になることがあります。

※ワールドカップの【●シリーズ】という表記は、便宜上のもので正式名称ではありません。

パラリンピック メダリスト一覧

※過去5大会（五十音順）

ソチパラリンピック（2014年）

【金メダル】

狩野亮	（アルペンスキー / 男子 滑降 座位）
狩野亮	（アルペンスキー / 男子 スーパー大回転 座位）
鈴木猛史	（アルペンスキー / 男子 回転 座位）

【銀メダル】

森井大輝	（アルペンスキー / 男子 スーパー大回転 座位）
------	---------------------------

【銅メダル】

久保恒造	（バイアスロン / 男子 7.5km 座位）
鈴木猛史	（アルペンスキー / 男子 滑降 座位）

バンクーバーパラリンピック（2010年）

【金メダル】

狩野亮	（アルペンスキー / 男子 スーパー大回転 座位）
新田佳浩	（クロスカントリースキー / 男子 クラシカル 10km 立位）
新田佳浩	（クロスカントリースキー / 男子 スプリント 1km 立位）

【銀メダル】

森井大輝	（アルペンスキー / 男子 滑降 座位）
太田渉子	（クロスカントリースキー / 女子 クラシカルスプリント 12.5km 立位）

【銅メダル】

大日方邦子	（アルペンスキー / 女子 回転 座位）
大日方邦子	（アルペンスキー / 女子 大回転 座位）
鈴木猛史	（アルペンスキー / 男子 大回転 座位）
狩野亮	（アルペンスキー / 男子 滑降 座位）
森井大輝	（アルペンスキー / 男子 スーパー大回転 座位）

トリノパラリンピック（2006年）

【金メダル】

大日方邦子	（アルペンスキー / 女子 大回転 座位）
小林深雪	（バイアスロン / 女子 12.5km 視覚障がい）

【銀メダル】

大日方邦子	（アルペンスキー / 女子 滑降 座位）
大日方邦子	（アルペンスキー / 女子 スーパー大回転 座位）
小林深雪	（バイアスロン / 女子 7.5km 視覚障がい）
東海将彦	（アルペンスキー / 男子 大回転 立位）
森井大輝	（アルペンスキー / 男子 大回転 座位）

【銅メダル】

青木辰子	（アルペンスキー / 女子 回転 座位）
太田渉子	（バイアスロン / 女子 12.5km 立位）

ソルトレイクシティパラリンピック (2002年)

【銅メダル】

大日方邦子	(アルペンスキー / 女子 大回転 座位)
大日方邦子	(アルペンスキー / 女子 回転 座位)
新田佳浩	(クロスカントリー / 男子 クラシカル5km 立位)

長野パラリンピック (1998年)

【金メダル】

大日方邦子	(アルペンスキー / 女子 滑降 座位)
小林深雪	(バイアスロン / 女子 7.5km 視覚障がい)
志鷹昌浩	(アルペンスキー / 男子 回転 座位)

【銀メダル】

青木辰子	(アルペンスキー / 女子 回転 座位)
安彦諭	(クロスカントリー / 男子 クラシカル5km ID)
大日方邦子	(アルペンスキー / 女子 スーパー大回転 座位)
野沢英二	(バイアスロン / 男子 7.5km 視覚障がい)

【銅メダル】

大日方邦子	(アルペンスキー / 女子 回転 座位)
篠原広樹	(クロスカントリー / 男子クラシカル20km ID)

<特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟 概要>

団体名：特定非営利活動法人日本障害者スキー連盟（SAJD）

会 長：猪谷千春

所在地：〒158-0081 東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学 生涯スポーツ学研究室 気付
TEL/FAX：03-5706-0938

目 的：障害者スキーの普及振興及び競技スキーの推進を図り、以って障害者の社会参加の促進を図ると共に、我が国スキー界の発展に寄与することを目的とする。

事 業：連盟は、上記の目的を達成するため、特定非営利活動に係る事業として次の事業を行う。

- (1) 障害者スキーの普及振興
- (2) 障害者スキー選手の強化育成
- (3) 障害者スキーに関する調査研究及び情報収集
- (4) 障害者スキーに関する広報
- (5) 障害者スポーツ団体、関連団体との連絡調整及び連携
- (6) 障害者スキー大会の開催及び他団体への協力
- (7) 海外のスキー大会への選手及び役員の派遣
- (8) その他、目的達成のために必要な事業

<本件に関するお問い合わせ先>

(特非) 日本障害者スキー連盟 事務局

担当：専務理事 野村一路

TEL/FAX：03-5706-0938

e-mail：info@sajd.com

〒158-0081 東京都世田谷区深沢7-1-1
日本体育大学 生涯スポーツ学研究室 気付